



発行所 東温市田窪2135 愛媛県立 しげのふ特別支援学校 印刷所 株式会社 松栄印刷所

自分らしい生き方を大切に



校長 宮崎 修次

校長室の窓からはうっすら雪化粧をした皿ヶ嶺の姿が映っています。あれほど早くて長かった令和六年の夏も、過ぎてしまえばあの時の大変さを思い出すことができないのですから、人間というのは都合よくできているものだと思います。

さて、今日集立ってゆく高等部三年生の皆さんは、しげのふ特別支援学校での学校生活をどのように振り返っているでしょうか。中学二年の時に新型コロナウイルスという未知の感染症の脅威によって、本来の学校生活の喜びや楽しみに制限が掛かってしまいました。しかし、その解決のために一人一台端末の整備が加速化しました。オンラインツールやICTによる授業の工夫が生まれて、ズームを使ったビデオ会議が今では当たり前です。皆さんが経験したコロナ禍は、マイナスもあつたけど、自分らしく生活していくための社会の仕組みが大きく前進したことを考えれば、逆境を乗り越えてプラスに変える貴重な体験だったと考えることはできないでしょうか。

これから学校を離れた社会で生活する卒業生の皆さんにはそれぞれの生きがいを持って過ごしてほしいと思います。仕事や趣味、余暇活動や日々の小さな活動において、心の底から納得のいく状態で取り組んでくれることを切に願っています。 アメリカの心理学者チクセントミハイ氏

＊訪問教育の設置 令和七年四月から、現在みなら特別支援学校で実施している訪問教育をしげのふ特別支援学校肢体不自由部門で実施することとなりました。創立六十周年を経て、さらに多様な学びの充実を目指して訪問教育の皆さんと一緒に新たな一歩を踏み出します。

部 通 信

思い出いつばいの修学旅行

幼・小学部

小学部六年生七名で、十月十日から修学旅行に行きました。子どもたちは「行ってきまーす!!」と元気に手を振り、笑顔で出発しました。最初に到着したのは、今治のタオル美術館です。見学をしたり、昼食を食べたり、買物をしたりしました。Aさんは、いろいろなものに興味津々。ムーミンやピーターラビットのコーナーでは、大きな人形にびっくりしていました。Bさんは、大好きなタオルを買って、旅行中、肌身離さず持っていました。サンライズ糸山では、来島海峡大橋を間近で見ることができました。海を見るのを楽しみにしていたCさんは、目を大きく動かしながら景色を見ていました。

道後散策では、道後の商店街に行き、お土産を買ったり、足湯に入ったり、からくり時計を見たりしました。Dさんは、御機嫌で、両手をピンと伸ばして、家族へのお土産をどれにしようかと品定め...買物を楽しみました。Eさんは、道後の景色を見ながら足湯に入っていました。道後友輪荘では、御馳走を食べて温泉に入りました。Fさんは、テレビで見たゲームを楽しんで、ぐっすり寝ました。

二日目は、松野町のおさかな館です。いろいろな魚や川の生き物を見ました。Gさんは、コツメカワウソをよく観察しました。ペンギンにも初めて触りうれました。サンドブラスト体験では、シールを貼って模様を作りました。Cさんは、学校で考えてきた図案を思い出しながら素敵なお皿を作ることができました。

笑いあり、涙ありの二日間でした。子どもたちそれぞれが、いろいろなことを経験し、思い出いつばいの修学旅行になりました。



それぞれの修学旅行の楽しみ方

中学部

私たち中学部三年生は十月二十四日から一泊二日で香川方面に修学旅行に行ってきました。その修学旅行をそれぞれどのように楽しんだかをご紹介します。

とにかく修学旅行先の食事がとてもおいしかったことに大満足のRさん。ものすごいスピードで完食していました。おかげで夜はお腹も満たされぐっすり。翌日訪れた四国水族館で見た魚もおいしそうに見えていたかもしれません。

バスの移動も、和盆作りも、食事も、四国水族館も全力で楽しんだRさん。でも一番楽しかったのは、先生と入ったお風呂。ホテルのユニットバスでしたが、二人で長風呂しました。消灯直前まで友達と活動ができて大満足でした。

バスの移動で大興奮のMさん。特に、キラキラ光るトンネルの中のライトは、ちょっとしたアトラクションのようで大満足でした。昼食もいつもと違う環境での食事でしたが、あつという間に完食。その後はベランダに出て景色を独り占めしてうっとりしていました。

「こんなに食べるの?」と思っていた御飯がおいしくて完食してしまつたKさん。和盆作りも夢中になつて作りました。四国水族館でお土産を買うのも楽しくて目移りして時間が足りないくらいでした。

少人数での修学旅行でしたが、それぞれの楽しみ方で満喫することができました。多くの方に支えられて実施することができ、感謝の気持ちでいつばいです。ありがとうございました。



可能性は無限大

高等部

皆さんが入学してから、社会は目まぐるしく変化してきました。タブレット端末などのICT機器を授業で積極的に活用する一方で、新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い、感染症対策を十分にしながら、以前のような形で学校行事を開催することができました。

具体的には、二泊三日で修学旅行に行ったり、文化祭で歌唱や演奏を映像ではなく、対面で行ったりしたことなどが挙げられます。昨年までとは異なることがあつても、皆さんは友達と相談して協力したり、教師と一緒に頑張ったりすることで、様々な困難を乗り越え、新しい道を切り開いてきました。

しげのふ特別支援学校を卒業すると、今まで以上に楽しいことや大変なことが待ち受けているかもしれません。でも、大丈夫です。皆さんは創意工夫を重ねながら今日にたどり着きました。どんなときでも全力で楽しみ、困難にも立ち向かうことができる、素晴らしい無限の可能性を秘めた人々たちです。工夫次第で可能性は広がります。皆さんはこれまでにそれを実証してきました。どうか自信を持って、これからの人生を謳歌していつてくださいます。本日は御卒業おめでとうございます。

